

新14回生（昭和37年卒）同期生で恩師を囲む同窓会の開催について

平成29年3月15日（水）

新14回生同窓会は、平成29年3月11日（土）ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、恩師池口杜孝先生（D組担任）ご出席のもと29名の参加により開催されました。

今回の開催に当たり、毎回ご出席いただいておりますB組担任の足澤 至先生におかれましては、企画・準備を進めていた段階ではお元気だったのですが昨年（平成28年）12月6日にご逝去され今回のご出席はかないませんでした。誠に残念の極みでありました。ご冥福をお祈りいたします。

司会は瀬川深志君（C組）が担当し、次第の順序に従って進められました。佐藤正俊君（A組）の開会のことばで元気よく始まり、続いて物故者に対する黙とうを捧げました。この後参加者全員による記念写真の撮影を行いました。

続いて、同窓会実行委員を代表して武藤正吾君（D組）があいさつを行い、ご来賓あいさつを池口先生からいただきました。

乾杯の音頭は菊池康弥君（B組）が行い、その後、祝いの演武を齊藤 剛君（B組、剣道部）が力強く披露してくれました。

こうして前段のセレモニーが終了し、いよいよメインの懇親に入りました。

前回の開催は平成24年8月12日（日）に行われましたから、4年7か月ぶりの再会となりました。県内はもとより、東京、横浜、千葉（市川市）及び仙台からも参加してくれました。特に、今回は卒業以来初めての参加者もあり、懐かしさと同時に感慨深いものがありました。

卒業して55年、半世紀を越えそして古希も越え、超高齢化社会の中で円熟した人生を過ごしている同期生が集い、高校時代から現在に至るまでの思いを胸に、お互いに交流しました。我々同期生とおおよそ10歳先輩である池口先生は、現在もお元気で活躍しておられ、恩師であると同時に人生の先生でもあり、これからの人生の糧として学ぶところが多々ありました。このように、本席は何にも変え難い充実したひとときとなりました。

また、今回初めて参加した人、かつての面影がなくなった人などがいることから、司会者の発案で、各クラス毎に自己紹介を行い、全員が近況など披露いたしました。

盛り上がり素晴らしく、まだまだ名残りが尽きないところではありましたが、余韻を残しながら、小笠原正光君（C組）の中締めで万歳三唱を行い、当時の応援団員佐々木武人君（D組）と菊池悦郎君（C組）の指揮のもと、校歌を4番まで声高らかに元気よく歌い上げたところで、再会を約束して閉会となりました。